

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	小池 嘉志	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

教職の魅力と現代的課題について理解を深め、実践的な対応力を身につけることを目的とする。教師の働き方、生徒指導、保護者対応など、現場で直面する具体的な課題について、討論やグループワークを通じて学び、充実した教師生活を送るための実践的なスキルと心構えを、豊富な実例を基に習得していく。そして理想と現実のギャップに備えながら、教職の本質的な魅力を見出す力を養う。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習および討論、プレゼンテーションによる発表

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学習計画及び学習の進め方の確認	<input type="checkbox"/>
第2回	総合演習 I についての振り返り	総合演習 I の振り返りと個別面談を行う	<input type="checkbox"/>
第3回	教師の働き方改革は本当に進んでいるのか	なぜ教師は大変なのか	<input type="checkbox"/>
第4回	限られた時間で最大の効果を上げるには	時間管理と時間の生み出し方	<input type="checkbox"/>
第5回	理想の職員室とは	職場の人間関係とその構築	<input type="checkbox"/>
第6回	生徒に信頼される教師になるには	教員の人気と指導力	<input type="checkbox"/>
第7回	研究内容についての中間発表3	各自の研究に関する進捗状況を発表する III	<input type="checkbox"/>
第8回	不登校の子どもたちの心に寄り添うには	不登校の原因と対策	<input type="checkbox"/>
第9回	保護者への対応の仕方1	保護者との信頼関係をどう築くか	<input type="checkbox"/>
第10回	保護者への対応の仕方2	困難な保護者対応をどう乗り切るか	<input type="checkbox"/>
第11回	保護者への対応の仕方3	保護者と協力して子どもを育てるには	<input type="checkbox"/>
第12回	できる教師の条件1	授業力を高めるには	<input type="checkbox"/>
第13回	できる教師の条件2	教師としての成長をどう図るか	<input type="checkbox"/>
第14回	研究内容についての中間発表4	各自の研究に関する進捗状況を発表する IV	<input type="checkbox"/>
第15回	学習のまとめ	後期の学習のまとめをする	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)

次回の課題について調べ、疑問点や深く知りたいことについてまとめる(2時間)。授業を通してのわかりやより深く追究したいことをレポートとしてまとめる(2時間)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

次週の授業の初めに、各自のレポートの内容をもとに振り返りの時間をもつ。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	教育現場の課題と対応策を理解し、実践的な問題解決のスキルを身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	教育現場の課題を分析し、適切な対応策を選択して具体的に説明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自ら教育現場の課題を見だし、その解決に向けて積極的に対応策を見いだそうとすることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 毎回の授業の振り返り、討論を通して必要な能力が習得できたかを評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業のテーマに沿った資料を適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		